



野田小学校 学校だより

南風の丘から

学校づくりのモットー
明るく楽しく美しく

校長 犬嶋博之

学習発表会 終了

御参観、ありがとうございました。

先日、たくさんの保護者や地域の方々の御参観をいただいて学習発表会を終えることができました。子どもたちのがんばりに、心温まるお褒めの言葉をいただいたので紹介します。

「学年が上がるにつれて覚える内容が多くなっているのに、みんなすっかり覚えてハッキリと発表していきいーさすが上級生ーという感じがしました。」

「学習発表会のために一生懸命練習してきたのがすごく伝わりました。」

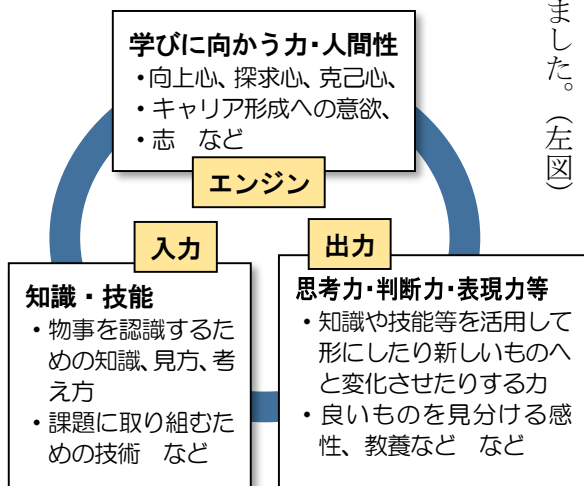
「この学年も上手に出来ていて、すてきな学習発表会でした。」

「自宅でもセリフ練習をして、本番を楽しみにしているよかったです。この子もこの子はからでこのまま大人になってほしいと思います。」
「全員合唱はエネルギーがあふれていて、生で聴く素晴らしさをあらためて感じました。」
「全校合唱は、全員で大きい声で団結していて涙が出ました。」

子どもたちの笑顔に、私たちも手応えを感じた学習発表会でした。開催に際しましては、御理解と御協力をくださいました皆さん、ありがとうございました。

行事の意義

「修学旅行」や「学習発表会」などの行事をコロナ対策でやむなく取り止めた学校もあると聞きます。本校でも「なぜ行つか」「どう行つか」は、かなり気を揉みましたが、私たちは子どもたちの「命や安全」に加え「学び」にも重点を置いて考えました。(左図)



上記の「エンジン」と「入力」「出力」の三つを育むことで子どもたちの『生きる力』が強く大きくなる。

左図は新学習指導要領に基づく教育活動の基盤となる三つの「力」です。修学旅行は教科授業で学べない「入力」(できない)ものを得る貴重な機会です。学習発表会は「出力」の力を伸ばす絶好の機会です。そして、今回の学習発表会へ向けて「わが子が自発的に家庭で練習していた。」というお話を聞きました。この意欲や向上心が、学びの「エンジン」です。
「エンジン」「入力」「出力」を、教科授業や行事(学校での教育活動)だけでなく、子どもたちの生活すべてで伸ばせたらと考えています。

《コラム あかね雲》

観光業界からの苦言

修学旅行の最終打合せに来校された業者の方に、バスガイドさんに次の事を伝えてくださいとお願いしました。

「小学生と思わずに説明してください。」

出発直後から、我が故郷にはこうもたくさん遺跡や自然、歴史、文化があるのかとびっくりするような詳しい説明で、修学旅行としてバスの中も充実した学びの空間になりました。最終日、バスを下車する別れ際、そのバスガイドさんが次のように話されました。

「島原半島は、PR不足です。」

素晴らしいものがたくさんあるのに、それを生かし切れていないとのこと。私たちが学校で行う教育活動にも言えるのではないかと思います、大きな学びとなった修学旅行でした。

《 主な行事予定 》

<11月>

- 22日(月) 人権教育月間 ~12/10
- 25日(木) 餅つき(5年生)
- 30日(火) 人権集会

<12月>

- 2日(木) 持久走大会、学級懇談会
- 8日(水) 市学力調査(国・算)
- 20日(月) 午前中授業設定日~23日
- 24日(金) 終業式(給食あり)

<1月>

- 11日(火) 始業式(給食あり)
- 12日(水) 午前中授業設定日、体位測定
- 13日(木) 書き初め大会
- 14日(金) 書き初め展 ~1/21

《心に響いた言葉》 「欲しい人材は『ものづくりに興味を持っている人』ですが、小学生は目の前の勉強をしっかりとって欲しいですね。」 修学旅行で訪れたSONY諫早工場の広報担当の方から。



シリーズ「令和の日本型教育」とはなんぞや？
〈第六回〉

「生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力を育成する」について

「健康」は、生身の人間にとって生きる上で基盤となる大切な要素です。今回のこの項目は特に「自ら」健康を保持増進するための力を高めることの必要性が挙げられています。

- ・生涯を通じて心身共に健康な生活を送るための資質・能力(健康リテラシー等)を育成
- ・養護教諭の適正配置, 学校医, 学校歯科医, 学校薬剤師等の専門家との連携, 学校保健情報の電子化
- ・食育の推進を担う栄養教諭等の専門性に基づく指導の充実, 栄養教諭の配置促進

この中にある「健康リテラシー」とは、健康に関する知識やノウハウに基づいて、健康や医療に関する正しい情報を見極め、理解し、活用できる能力を言います。教科授業や行事などで取り組んで得た知識や技能、思考力や判断力等を「健康」というキーワードに照らして結びつける総合的な「学び」が求められています。

本校で取り組んでいること

学校で行っている健康に関する取組には、以下があります。



〈教科授業〉

- ・体育科(保健)：「体ほぐしの運動遊び」「健康な生活」「体の発育・発達」「心の健康」「けがの防止」「病気の予防」

- ・学級活動：「せいけつな体」「みんなが輝く学級生活をつくるために」「健康な生活が続けるために」

〈児童会活動〉

- ・保健・給食委員会の取組：歯の健康、給食・食育の推進、手洗い・うがいの励行など

〈行事など〉

- ・薬物乱用防止教育、がん教育、アレルギー疾患対策、感染症対策

〈定期健診、面談など〉

- ・健康診断、健康観察、面談、健康観察

〈環境づくり〉

- ・学校環境衛生、労働安全衛生

ほか

近年、人の健康に影響を与えるものとして「地球温暖化」や「海洋プラスチック汚染」など、社会科や理科等の知識をからめたり、英語での能力が必要であったりしますので、総合的に学習を進めていきたいと思えます。

方言

ふるさとの文化・歴史・人物——野田小教育の視点から

とある食堂のトイレで「島原の方言」と銘打った掲示物がありました。

「そがんねー、こぎゃん言い方しーよったねー」といたく感動(?)しましたので、難易度順に並べてみました。いかがでしょうか？



- 〈おい…私〉
- 〈わい…あなた〉
- 〈ぬっかねー…喜いね〉
- 〈こつか…すこい〉
- 〈ぬっ…寝る〉
- 〈がまだす…頑張って〉
- 〈ひえじこ…恐がり〉
- 〈じこ…お尻〉
- 〈いくこんか…行きたくない〉
- 〈あせがる…急ぐ〉
- 〈きやーなえた…疲れた〉
- 〈どおろつかい…気にしないで〉
- 〈そこんにき…その辺り〉
- 〈そぎゃん…その通りです〉
- 〈がまじゃ…たくさん〉
- 〈せからしか…面倒くさい〉
- 〈おめく…叫ぶ〉
- 〈ねまる…腐れる〉
- 〈いっちょやる…置いてけぼりされる〉
- 〈みどか…可愛い〉
- 〈そいきね…それじゃね〉
- 〈ちっかんげた…壊れた〉
- 〈とおじんか…寂しい〉
- 〈しゃー…おかず〉



言葉は、その土地の歴史から紡がれたものですので興味深いです。

(さて、「しゃー」の歴史やいかに?)